

家族ケア論

| | | | |
|--------------|------------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 特任准教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 看護学部、成育看護学講座 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

臨地実習を終え、様々な看護体験をしてきた中で、患者のみならず家族に焦点を当てる。家族に関する様々な理論を踏まえ、家族集団のダイナミクスを理解し、家族の発達段階・臨床の場や在宅、地域で出会うさまざまな家族への支援方法について学び、これまで出会った患者・療養者の家族への支援について振り返り考えを深める。

・教育成果（アウトカム）

これまで学んできた看護専門領域における患者・療養者への看護・支援には家族支援も含まれていることは学修済みであるが、家族を一つのシステムとして捉え、家族の関係性に言及することができる。また事例を用いて家族への援助方法を学ぶことにより、困っている様々な家族に出会うときに支援ができるための家族へのかかわり方、支援方法の基本が理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 家族の概念・機能・構造が理解できる。
2. 家族看護を支える理論が理解できる。
3. 家族をシステムとして理解し、家族介入の基本を理解できる。
4. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のケアニーズについて、その家族の価値観、住んでいる地域の特徴、文化を踏まえ、アセスメントできる。
5. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族に必要な社会資源を理解できる。
6. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のニーズに対応するための援助の基本を理解できる。

・授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|------|----|----|--------|--------------|---|
| 6/8 | 火 | 2 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>看護学として捉える家族とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景とともに変化することを踏まえ家族の機能と構造及び家族看護の定義を説明できる <p>【事前学修】 看護学概論の家族についての資料を復習しておく</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p> |
| 6/11 | 金 | 3 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>家族看護に関わる理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族発達、家族ストレス理論、家族システム理論、それぞれの特徴のポイントを述べる事ができる <p>【事前学修】 基礎看護学Ⅳの家族に関する資料を復習しておく</p> <p>【事後学修】 1年次での家族理論の学び、そして専門看護領域での講義・実習からの家族の学びを踏まえ、改めて家族に関する理論を自分の中で発展させることができたかを述べる事ができる</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|---------|--------------|---|
| 6/17 | 木 | 1 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>入院中の家族ケア -救急医療・集中治療の場-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者（児）の状況に混乱を生じている家族へのかかわりのポイントをあげることができる <p>【事前学修】 成人看護学（急性期）、小児看護学で取り上げた家族への支援を復習しておく 前回渡した課題に取り組む</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p> |
| 6/23 | 水 | 1 | 成育看護学講座 | 最上 玲子 講師 | <p>入院中の家族ケア -小児病棟から捉える家族ケア-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院療養せざるを得ない子どもに寄り添う家族へのかかわりのポイントをあげることができる <p>【事前学修】 入院中の小児と家族の事例(Web Classにて提示)を熟読し、家族の課題を明文化する(30分)</p> <p>【事後学修】 事前課題で明文化した課題について検討し、かかわりを記述する(Web Classにて提出)</p> |
| 6/30 | 水 | 1 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>外来治療療養者の家族ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された患者及び家族のアセスメント、そこから見える患者・家族の認識のズレを認識し、家族にどのようなアプローチをしたらよいか考え、長期にわたる慢性疾患患者の家族支援のポイントを理解することができる <p>【事前学修】 事前資料を読み込んでくる</p> <p>【事後学修】 他の学生の考え方・講義内容と自分で立案したものとを比較検討し、整理する</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|------|--------------|---|
| 7/2 | 金 | 2 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>介護する家族は何を思うか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者の語りを基にした資料から介護者自身の介護への姿勢を読み解き、介護者のニーズを探ることができる <p>【事前学修】 在宅看護学実習で出会った家族について学んだことを整理する</p> <p>【事後学修】 配布資料を復習する</p> |
| 7/7 | 水 | 2 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>入院中の家族ケア -家族との関係づくり-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病室での遭遇した家族員とのかかわりの事例から家族との関係づくりのポイントをあげることができる <p>【事前学修】 出された課題に取り組む</p> <p>【事後学修】 講義資料及び学生間のディスカッションを踏まえ家族との関係づくりのポイントを復習する</p> |
| 7/12 | 月 | 2 | 看護学部 | 三浦 まゆみ 非常勤講師 | <p>揺れ動く家族への支援のありよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揺れ動く家族への支援に焦点をあてた資料から、看護職の家族支援について、考えを深めることができる <p>【事前学修】 提示資料の理解を深めるために、専門領域で学んだ終末期の家族、発達障がい児の家族について復習してくる</p> <p>【事後学修】 講義資料を復習する</p> |

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------|---------|------|------|
| 推 | 家族看護学 | 上別府圭子代表 | 医学書院 | 2018 |

| | | | | |
|---|------------------------------|-------------|------|------|
| 参 | 家族看護学 19 の臨床場面と 8 つの実践例から考える | 山崎あけみ・原礼子編集 | 南江堂 | 2008 |
| 参 | 家族看護学 | 小島操子監修 | 中央法規 | 2007 |

・成績評価方法

筆記試験 70%、課題レポート 30%により総合的に行う

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修については、各回講義に提示する次回講義の事前学修予習ポイントに取り組むこと、事後学修については、教科書は定めていないので講義資料の復習を必ず行うこととし、各回最低 30 分を要する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義の中に適宜学生間でのディスカッションを取り入れながら授業を行う。また授業に関する質問等はレスポンスカードで確認し、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|----------------------------------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ（ELMO PX-10） | 1 | 講義用資料投影 |